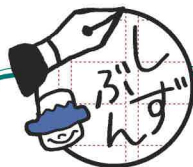


しずぶんツアー vol.8

するが文化の散歩道

スタンプラリー 2025



静岡県中部には、日本近代史に名を残した文化人を顕彰する施設があります。静岡市、焼津市、藤枝市にある各施設を巡るスタンプラリーを通して、彼らの作品やそれらを育んだ風土を体感し、静岡の魅力を再発見してみませんか。

期間 2025年10月7日(火)～2025年12月7日(日)

会場 ①中勘助文学記念館 ②静岡市立芹沢銈介美術館
③焼津小泉八雲記念館 ④藤枝市郷土博物館・文学館

*②④は要入館料、①③は無料。
*施設ごと休館日が異なります。詳しくは7～14ページをご覧ください。

ノベルティプレゼント

【オリジナルマグネット】



中勘助文学記念館



静岡市立芹沢銈介美術館



焼津小泉八雲記念館



藤枝市郷土博物館・文学館

期間中 スタンプを集めて
オリジナルグッズをゲットしよう！

グッズのデザイン等は、
静岡県立大学の学生が制作しました。

*写真はイメージです。予告なく変更になる可能性があります。

【オリジナルバッグ】



【オリジナルチケットホルダー】



2 館
達成

各館オリジナルマグネット

または オリジナルチケットホルダー

*お好きな方一つだけ選んでいただけます。
*各施設に他施設のマグネットはありません。
*もらえるマグネットは1種類のみです。

☐ 交換済(スタッフ記入欄)

さらにもらえる！

4 館
達成

オリジナルバッグ

☐ 交換済(スタッフ記入欄)



大学生が作成した各施設の紹介はこちら

するが文化の散歩道 公式Instagram
@SURU_BUN



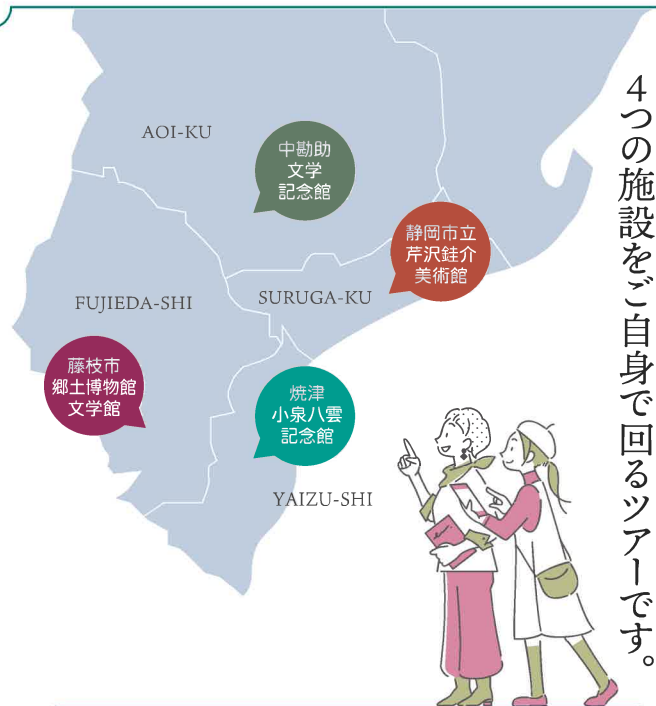
主催

静岡市 焼津市 藤枝市 協力 静岡県立大学 細川ゼミ

企画制作

公益財団法人静岡市文化振興財団、静岡市立芹沢銈介美術館、
焼津小泉八雲記念館、藤枝市郷土博物館・文学館

4つの施設をご自身で回るツアーです。

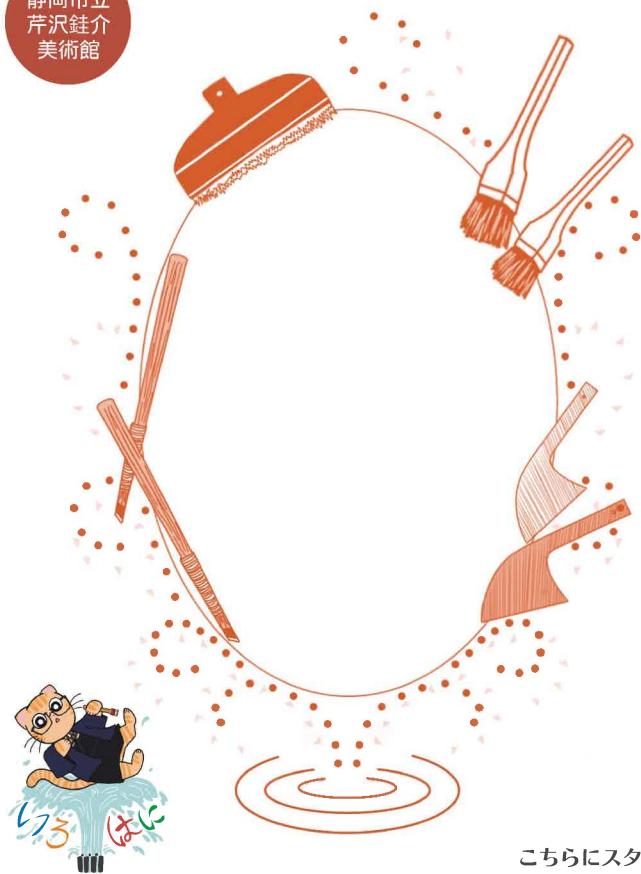


しずぶんツアーとは？

しず ぶん しず ぶん
静岡にゆかりの文化人ならびに静岡の文化をみなさんに知ってもらい、その魅力を紹介するツアー。静岡の文化に親しみ、新たな静岡の魅力を見つけるきっかけとなれば幸いです。

スタンプラリーのルール

- 対象施設に行き、展示物をご覧いただくとスタンプを押すことができます。会場に行くだけではスタンプを押すことができません。入館料が必要な施設もあります。
 - スタンプを押すことができるのは、来館したご本人のみです。
 - 施設ごとスタンプが異なります。同じスタンプを2個以上集めても1個分にしかカウントされません。
 - 各館を回る順番は自由です。
 - プレゼントの交換はそれぞれ1回までです。プレゼントの置き置きや配送等は行っておりません。
 - オリジナルマグネット、オリジナルチケットホルダー、オリジナルバッグは各館で引き換えができます。(引き換え期間 令和7年12月7日まで)
 - プレゼントは無くなり次第終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ※施設ごと休館日が異なります。詳しくは7〜14ページをご覧ください。



こちらにスタンプを押してください



藤枝市
郷土博物館
文学館



えだにゃん

-6-

焼津
小泉八雲
記念館



ヒノコ

-5-

こちらにスタンプを押してください



おすすめの写真スポット



杓子庵

*杓子庵屋内への立ち入りは不可。屋外からの写真撮影は可。

中勘助は、杓子庵で葦科川を眺め、月を仰ぎ、野草を愛で、鳥の声に耳を傾けながら静かに文筆生活を送っていたそうです。恵まれた村の自然に感謝し、新聞の人々との素朴なふれあいをよろこびながら、その生活を随筆「樟ヶ谷」の中に純粋に描きました。

施設からのメッセージ

関連イベント情報

文学講演会「小泉八雲と日本近代文学」

小泉八雲や中勘助をはじめとする多くの文人が訪れた静岡の地。

本講座では、明治時代に来日し、日本を世界に紹介した小泉八雲を取りあげ、八雲の文学が日本近代文学に与えた影響や「土地と作家」の関係を探っていきます。

講師：那須野 純子（常葉大学外国語学部講師、焼津小泉八雲記念館アドバイザー）

日程：2025年11月8日（土）14:00～15:30

会場：静岡市薬科生涯学習センター（静岡市葵区羽鳥本町5番9号）

入場料：無料 定員：100名

申込み：10月7日（火）～WEB 申込み（静岡市コールセンター：054-200-4894）

または WEB 申込み（申込順）



文学講演会
申込みフォーム

ミニコンサート「箏のしらべ」

音楽に親しんでいた中勘助にちなんで開催するミニコンサート。

文学館での午後のひとときを、豊かな箏の音色でお楽しみください。

出演：静岡市三曲協会（石渡 裕子・菊池 尚子）

日程：2025年11月29日（土）14:00～14:40

入場料：無料 定員：20名

申込み：10月14日（火）～WEB 申込み（申込順）

*演奏会後、希望者のみ箏の簡単な体験あり



箏のしらべ
申込みフォーム

来館された方には、開館30周年記念ノベルティをプレゼント！（なくなり次第終了）

問い合わせ：（公財）静岡市文化振興財団 TEL054-255-4746

中勘助文学記念館

中勘助文学記念館は、中勘助が昭和18（一九四三）年に東京から転地静養と疎開のために移り住んだ旧前田邸を「中勘助文学」の記念碑として位置づけ活用するため、中勘助の生誕110年目（没後30年目）にあたる平成7（一九九五）年に開館し、令和7年に開館30周年を迎えました。中勘助直筆の原稿、書籍、遺品を展示しながら、貸室（無料）も実施。中勘助顕彰の場、文化交流の場として、広く親しまれています。

INFORMATION

時 10:00～17:00

入 無料

住 静岡市葵区新聞 1089-120

● しずてつジャストライン

薬科線（約25分）

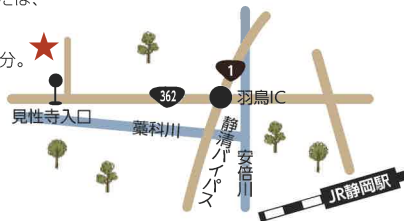
JR 静岡駅北口3番のりばまたは、

「新静岡」2番のりばから、

「見性寺入口」下車、徒歩4分。

駐車場（4台分）有り。

☎ 054-277-2970



スタンプラリー期間中の休館日

- 月曜日（祝日の場合は翌日）
- 祝日の翌日（土・日の場合を除く）



ホームページ



おすすめの写真スポット



農家の板倉を芹沢好みに改装した「芹沢銈介の家」。収集品を陳列し、応接間や創作の場として使用していました。

施設からのメッセージ
静岡市出身の染作家・芹沢銈介（一八九五～一九八四）の作品と、氏が集めた世界の工芸品を、年4回の展覧会を通してご覧いただけます。東京・蒲田から移築した芹沢銈介の家も公開しています。【日祝（8月は土日祝のみ公開）】

関連イベント情報

「芹沢銈介生誕130年記念展 型紙 美しい染物への約束」

日程：2025年10月7日（火）～12月7日（日）

休館日：毎週月曜日

（10月13日、11月3日、11月24日は開館）、10月14日、11月4日、11月25日
型染の特徴を活かして数々の傑作を制作し、国内外で高い評価を得ている芹沢銈介。生誕130年を記念して、芹沢が彫った型紙の美しさをご覧ください。

光の館 ヒカリノヤカタ 2025

日程：2025年10月13日（月）18:00～20:00 ※入館は19:30まで
美術館本館（別名「石水館」）は、建築家・白井晟一によって設計され、全国公共建築百選にも選ばれた建物。特別にライトアップされた夜の石水館をお楽しみいただけます。



静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市立芹沢銈介美術館は、染色家・芹沢銈介より、郷里の静岡市に作品約600点と世界の工芸品約4500点が寄贈されたのを機に、昭和56（一九八二）年6月に開館しました。芹沢の染色作品には、のれん、屏風、着物、帯、絵本、カレンダー、うちわなどがあり、日々の暮らしを彩る品々を広範囲に手がけています。芹沢銈介の色彩豊かな作品と、明るく楽しいコレクションの数々をご覧ください。

INFORMATION

時 9:00～16:30

入 一般 420円／高校生・大学生 260円
小学生・中学生 100円 / 未就学児無料

（団体割引は30名以上でご利用いただけます。）

※静岡市内在住 70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料

※障がい者手帳等の提示により本人及びその同伴者1名無料

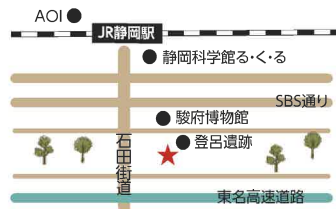


住 静岡市駿河区登呂五丁目10-5

● しずてつジャストライン

JR 静岡駅南口 22 番のりばから
「登呂遺跡」行き乗車約10分、
終点下車、徒歩3分。
登呂公園南側に有料駐車場有り。
（400円/1日）

TEL 054-282-5522



スタンプラリー期間中の休館日

- 月曜日（祝日の場合は翌日）
- 祝日の翌日（土・日の場合を除く）



X(旧ツイッター) ホームページ

焼津小泉八雲記念館

明治時代に来日し、焼津を愛した作家小泉八雲（ラファカディオ・ハーン）の文学と焼津との関わりを後世に伝えるために、平成19（二〇〇七）年にオープン。焼津関係資料を紹介した常設展示の他、年に2回の企画展示会や講演会、コンサートなども開催しています。また、館内併設の閲覧コーナーでは1000冊余りの八雲文献を公開しており、読書や研究活動にもご利用いただけます。

INFORMATION

時 9:00～17:00

入 無料

住 焼津市三ヶ名 1550

● 焼津市自主運行バス（約5分）
JR 焼津駅南口 4 番のりばから、
「文化センター前」下車。

☎ 054-620-0022



スタンプラリー期間中の休館日

● 月曜日（祝日の場合は翌平日）



ホームページ

おすすめの写真スポット



小泉八雲の肖像が刻まれている玄関のモニュメントは、御影石でできており、全体で霊峰富士を表し、中央に伸びゆく焼津市を、右側に焼津海岸の波を、左側は石積堤防を表しています。台座部分は、八雲滞在時の堤防に使用されていた石材が使用されています。

施設からのメッセージ
小泉八雲は、晩年六回の夏を焼津で過ごし、当地にまつわる作品を多く残しました。焼津小泉八雲記念館では、八雲にゆかりのある品々を多数展示し、八雲が癒しの場として焼津の地を選んだ背景や焼津の人々とのふれあいを、時を超えた現代に伝えます。

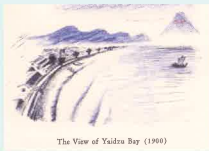


関連イベント情報

特別展 焼津/YAIDZU、心の避暑地ー八雲と家族の夏日記

日程：2025年9月28日（日）～2026年4月19日（日）
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

八雲と家族が綴った書簡やスケッチ、関連作品、写真資料を紹介し、焼津で紡がれた八雲の夏の記憶をたどりまします。八雲が見つめた焼津の風景、家族との絆に触れてみてください。



八雲が描いたスケッチ（焼津海岸）



おすすめの写真スポット



小川国夫文学碑

小川国夫の文学界に遺した功績を讃え、建立されました。



小川国夫の書斎(イメージ再現)



藤枝静男文学碑

施設からのメッセージ

小川国夫(一九二七～二〇〇八)や藤枝静男(一九〇七～一九九三)に代表される藤枝にゆかりのある様々な文学者の、直筆原稿や愛用品を展示して紹介しています。文化の香り高い藤枝の風土を、ゆかりの文学者たちの作品を通して感じていただければ幸いです。

関連イベント情報

プロデューサー

藤枝市郷土博物館特別展「江戸の仕掛け人 鳥屋重三郎」

日 程:2025年11月8日(土)～12月21日(日)

料 金:大人500円(中学生以下無料)

2025 年大河ドラマの主人公・鳥屋重三郎。48年間の生涯で喜多川歌麿や東洲斎写楽など浮世絵師や恋川春明や十返舎一九のような戯作者などをプロデュースし、日本文化の形成に大きな影響を及ぼしました。

本展では、歌麿や写楽の実物の浮世絵を中心に、約 200 点の同時代資料を展示します。鳥重の生きた時代と、そこに残した足跡を分かりやすく紹介する展示会です。



[左]初代中川(重三郎)の肖像(浮世歌仙歌麿画) 鳥屋重三郎 版(個人所蔵)
[右]絶頂期の喜多川歌麿 画、鳥屋重三郎 版(個人所蔵)

藤枝市郷土博物館・文学館

藤枝市文学館は、藤枝ゆかりの文学者・芸術家や文学作品・芸術作品に関する資料を収集・展示し情報発信するために平成19(二〇〇七)年に開館しました。建物は藤枝市民の憩いの場である蓮華寺池公園内にあり、郷土博物館と接続しています。藤枝で執筆活動を終生続けた作家・小川国夫が日常の散歩道としてこよなく愛した蓮華寺池公園の自然の中で、藤枝の文学や郷土の歴史・文化を学ぶことができます。

I N F O R M A T I O N

時 9:00～17:00

入 常設展のみ / 高校生以上 200 円

(特別展入館料は別途)

中学生以下無料

障がい者手帳等をご提示の方は無料

住 藤枝市若王子 500

● しずてつジャストライン (約 10 分)

JR 藤枝駅北口 2 番のりばから

新静岡方面行乗車、

「蓮華寺池公園入口」下車 徒歩 10 分。

☎ 054-645-1100



スタンプラリー期間中の休館日

- 月曜日 (祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日 (土・日の場合を除く)
- 11月4日 (火)～7日 (土)



ホームページ